

地域の課題に取り組む住民自治を学ぶ

白石笑顔未来塾に225人が参加

3月7日、I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]の川北秀人代表を講師に迎え、「白石笑顔未来塾」を開催しました。人口構成の予測や財政の推移など、本市のデータをもとに、限界を迎えた行政力に依存するのではなく、住民主体で地域力を向上する必要性や、子どもたちの世代が誇りを持って暮らし働くための地域づくりについて、各地の事例を織り込みながら紹介。参加者は「できることから始めたいです」「学びを深めるためにもう一度お話を聞きたいです」と感想を話してくれました。



1_ 講師の川北代表 2_ 熱心な聴衆で満員の中央公民館大ホール

きれいな着物でうれしいひな祭り

大鷹沢保育園でひな祭りお茶会

3月3日、大鷹沢保育園で桃の節句にちなんで「ひな祭りお茶会」が催されました。この日は、年長と年中の5人の女児が不織布で作った着物を着て参加。園児手作りのひな人形を前に、全員で「うれしいひなまつり」を歌ったり、着物を着た女児が踊りを披露したりしました。その後に行われたお茶会では、年長児が大鷹沢保育園元園長の山崎義子さんからお茶の作法を教わり日本古来の風習を体験。参加した園児は「着物を着て踊りを踊って楽しかったです」「お茶はちょっと苦かったけどおいしかったです」と笑顔で話してくれました。



▲手作りのひな人形を前に着物を着て踊りを披露する園児たち

新種目で笑顔いっぱい交流を深めた

第26回白石市スポーツ少年団交流大会

2月12日、ホワイトキューブで「第26回白石市スポーツ少年団交流大会」を行いました。この大会は、各種レクリエーションを通してスポーツ少年団間の交流を深め、青少年の健全育成のために毎年開催。今大会は、スポーツ少年団10チーム約200人が参加。毎年恒例となったドッチビーや長縄跳びなどを行いました。新種目の玉入れでは、前方に置かれたカゴに玉をなかなか入れられず順位が入れ替わるなど、会場は大盛り上がり！参加者は「ほかの少年団の人と交流ができるので毎年楽しみにしています」と話してくれました。



▲新種目の玉入れ。狙いを定めて玉を投げ入れる参加者（中央）

大切に使います！

白石工業高校生徒が手作りおもちゃを寄贈

2月13日、白石工業高等学校建築科3年のものづくり班の生徒から第二幼稚園の園児たちに手作りおもちゃがプレゼントされました。平成28年度の同科の研究テーマが「誰かのためのものづくり」。平成28年9月に同園で園児たちの好きなおもちゃは何かを調査し、木馬とままご用のミニキッチンセットを制作。角を丸くしてケガを防止するように工夫されています。おもちゃで遊んだ園児たちは「木馬に乗って楽しい！」「本物の包丁みたい!!」と楽しんでいました。後日、同班は認可保育所あそびの森にも手作りおもちゃをプレゼントしました。



▲プレゼントされた木馬に大はしゃぎ！

1年間の学習の成果を発表！

第36回公民館まつり

3月4～5日の2日間、中央公民館とスポーツセンターで「第36回公民館まつり」を開催しました。今年のまつりには、発表の部に23団体、展示の部に22団体527人が参加。生涯学習に取り組む人たちが、踊りや楽器演奏などのステージ発表、手芸品や書道の展示などで1年の学習の成果を披露しました。また、4日に行われた株式会社劇団ニホンジプロジェクトによる「イセijin わくわくコンサート」では、イセijinのライブのほか、塗り絵・お面作りコーナーを設置。子どもから大人まで、幅広い年代の人たちが楽しんでいました。さらにその後、スポーツキャスターの荻原次晴さんが「次に晴ればそれでいい」を演題に、双子の兄が五輪金メダリストだったために苦労した体験談などを交えながら、「失敗を恐れることなくチャレンジすることが大切です」と講演しました。この2日間、会場となった両施設に会場した約1,900人は楽しい時間を過ごしていました。



1_ 熱狂的なファンも駆け付けた「イセijin わくわくコンサート」では、スポーツメイト白石蔵王のキッズダンス教室やホワイトキューブHIPHOP教室に通う子どもたちがイセijinと一緒にダンス！ 2_ ジョークを交えながら講演する荻原さん 3_ イセijinの塗り絵を楽しむ来場者たち 4_ 5日の発表の部で、美しい歌声を披露する童謡講座の皆さん

1つでも多くを学んでレベルアップ！

ベガルタ仙台サッカー＆ルール教室

2月12日、ホワイトキューブで「ベガルタ仙台サッカー＆ルール教室」が行われました。この催しは、白石サッカー協会（大宮信明会長）と本市が、サッカー少年たちの技術と知識向上を目的に毎年開催。市内外から参加した小学生約60人は、サッカーのルールの基本を学んだ後、ベガルタ仙台のスクールコーチの指導を受け、楽しそうに練習していました。大宮会長は「この教室で1つでも多く学んでもらい、自分の所属チームでの活動に活かしてほしいです」と、この教室が参加者のレベルアップにつながることを期待していました。



▲懸命にボールに脚を伸ばす参加者たち

今年は香りが強くておいしい

なごみ茶屋で「寒ざらしそば」お披露目会

3月16日、材木岩公園内の検断屋敷で「寒ざらしそば」お披露目会が開催されました。この「寒ざらしそば」は、大寒の日から約2週間、蔵王の清流に浸したそばの実から作ったもの。冷たい水に浸すことでアクが抜けて甘みが増すことと喉ごしが良いことが特徴です。この日は、そばの実の仕込み作業を行ったそば屋の店主や白石興産株式会社の社員など、関係者約40人が出席。今年のそばは例年よりも香りが強いと、よりそばの香りを楽しむことができます。市内では唯一、材木岩公園内のなごみ茶屋で提供されていますので、ぜひご賞味ください。



▲「寒ざらしそば」に舌鼓を打つ出席者たち